



横浜市立日野南中学校

令和3年1月12日

令和2年度

ひのみだより 1月号

横浜市港南区港南台 4-37-1 TEL045(832)4726

明確に

校長 住本 宏

「僕は誰に何といわれても、方解石のようにはっきりした、あいまいを許さぬ文章を書きたい。」※方解石⇒石灰岩や大理石などを構成している鉱物。

(文章と言葉と 芥川龍之介)

3年生は現実を直視し、今ある力を十分に発揮することを心掛けて欲しいものです。中学時代に取り組み学んだこと、これから挑戦したいこと…。誰に対してもはっきりと語ることが肝要です。難解な質問にあやふやに答えるのは、むしろ疑義を生じることが間々あります。言葉の明確さが自信につながります。もう一息。応援しています。

下級生も進級を控え、成長の跡や反省の色を強く発しています。学校も教育活動の見直しや次年度の計画など明確な方針を目指します。現状を把握し課題解決に向けた取り組みこそ、大木を支える土壌となります。

緊急事態宣言が発令されました。行動の制限がもたらす意義や社会に目を向け本質を見抜く力が試されているようです。

1年生「いのちの授業」

一人ひとりの命が特別で尊いものであること、そして自分の命が大切なものであることを確認するために、今年度は、12月8日(火)横浜国際人権センター 杉藤 旬亮先生に「なぜ命が大切なのか」「どうすれば大切にできるのか」テーマにご講演いただきました。

生徒の感想から

私は、自分だけが幸せになることは、他人も自分も幸せにはなれないと思いました。誰かの役に立てた時の方が自分もうれしくなると思います。また、人権を守るということは自分の命と幸せを守ることだと知り、とても納得しました。人は誰もが幸せになる権利があるし、周りの人が差別などでその権利を奪うことは絶対にいけないことだと思います。けれど、世界での差別を止められるわけではないので、まずは自分の周りの人を大切にしていけば、小さなことでもそれが積み重なって誰か幸せになれる人が増えとうれしいです。だから、私一人が行動しても意味がないと思わずに、周りの人を大切にしたり、全く関係のない人にも親切にできたりするようになっていこうと思います。

1年1組 岡部 優佳

今回の、いのちの授業に参加して、私が印象に残った話は三つあります。一つ目は、MSF～国境なき医師団～の話です。この方々は、たとえ自分に危険がせまっても困っている人がいたら、世界各国どこまでも、年齢や性別など関係なく助けに行くのだと知って、私だったら、と深く考える事ができました。二つ目は、杉藤先生が行った、アメリカでの話についてです。この話で、私が、心を強く打たれた所は5歳の子が、けがをしている杉藤先生を見て、向かってくる大人達を止めたという場面です。私より、もっと小さい子供がこのような事を、自分から、そして一生懸命やっていたというのを聞いて、すごいなと感じ、そのような事は、無意識に「恥ずかしい」

と感じていた自分を、これから改善していこうと思いました。三つ目は、鏡に映った自分と話すということについてです。私は、この話を聞いた時、まず最初に、なるほど確かにと思いました。なぜなら、私は、毎日鏡を見ているけれど、映っている姿しか見ておらず、中身までは見ていなかったからです。私は、本当の自分を知ることが怖かっただけなのかもしれません。けれど今回の話を聞いて、やっぱり、自分を知ることが大切で、一ヶ月に1回は、そのような時間を作ろうと思いました。私は今回の「いのちの授業」で、人権というものは、人の命と、幸せを守るものだど知り、そして、深く考えることができました。これからは、自分だけでなく、周りの人を見て、困っていないか、辛そうにしていけないかなどを考え、それを行動にうつせるような人になりたいです。

1年2組 福島 結夏

僕は今まで人権のことを難しく考えすぎて、人権というものは、どういうものなのかということが分からなくなっていました。しかし、杉藤先生のお話を聞いて、人権は「生きたいと思うこと」と「自分の幸せを願うこと」という簡単な言葉で表せるということがわかりました。また「人権って単純だけど難しいんだな」ということがわかりました。他にも一人一人が生まれたときから一人一人に与えられる「人権」というものが、どれほど大切で、なくてはならないものかということがわかりました。自分の人権を大切にするのなら周りの人のことも考えて、考える前に体が動く、そのような人になることが大切だということ、また自分がそのような人になるように、自分のことを理解することの大切さというのを知ることができました。でも自分を見つめ直し、本当の自分と向き合うことの難しさを知り、自分と向き合うことができないかもしれません。そういった場合どうすればよいか、どうすれば本当の自分と向き合うことができるのか、その答えが見つかってからでも遅くはないでしょうか。杉藤先生のお話の中で、ニューヨークに行った時の話が心に残っています。飛行機からおりるときに、後の人達が横を通るわけでもなく、3段ぐらいあけて待っていている、そういった行動のできる人、人の気持ちを自分の気持ちと合わせて考えて行動ができる心をもっている人が、この世界全体に広がれば人権を守ることでできる人間や、誰かの役に立てる人間が増えると思います。他にもショッピングモールの所で、みんなが入らないように、手を広げてみんなを止めている女の子のような行動が、自分にもできるようになりたいと思いました。僕はこれから、自分のことを大切に、周りの人のことも大切にして、生活をしていきたいです。また月に1回、鏡の前で自分を見つめ、本当の自分と向き合っ、直していくところを直して、誰かの役に立てるような人間になりたいです。

1年3組 佐藤 悠之

人権は難しいというイメージが私の中で大きかったのですが、お話を聞いて、人権は命や幸せを守る大切なことだということを実感しました。人権を守るには自分勝手な考えではなく、人の立場になるということを考えて入れると知りました。今まで人の立場になって人と人の心を大切にするという思いはあったのですが、なかなかその思いを行動にするという勇気がありませんでした。人の心を大切にするにはどうすればいいか考えると、人に目を向けて生きていくことが大切で、私も目を向けてもらって普段たくさんの人に助けられているということを中心にとめることから始めようと思いました。大きなことではなくてもまずは身近な声をかけたり席をゆずったり、あたりまえがあたりまえではないという感謝を込めて気持ちを行動に変えようと思います。少しでも自分と向き合う時間をつくり、自分のことを知っていくことで、今の自分はどういうことができるかとつなげて考えていき、人の心を知ろうと努力する心もちたいです。

1年4組 保田 心音

新型コロナウイルス感染症を学ぶための映像資料の活用

横浜市教育委員会より、児童生徒の新型コロナウイルス感染症に対する認識を広げ、正しい予防措置を学ぶことを目的に、映像制作会社から標準映像資料の提供がありました。家庭で同資料を視聴できるよう、ホームページ上でも公開されております。保護者とお子さんが同一内容を視聴することで、家庭での感染予防の取組が広まるよう、視聴していただければと思います。

※Youtube の URL <https://youtu.be/ojmeMWq4ill>

(最後の2文字は、小文字の l (エル)、大文字の I (アイ))

いじめ防止に向けた提言

青少年の健全育成のために、子どもに関わる全ての大人に向けて

- 一 多様なコミュニティを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供しよう。
- 一 地域・家庭が一体となって、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創ろう。
- 一 子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てよう。

提言策定の理由と主旨

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、子どもたちは、「人とのつながり」が分断される状況を余儀なくされた。しかし、本来、人と関わることは、お互いに温かさや安心をもたらすことであり、孤立を防ぐことである。この社会状況を契機として、今、改めて「人とのつながり」の大切さについて考えていく必要がある。

いじめ防止対策推進法には、「いじめについては社会総がかりで取り組むこと」、横浜市いじめ防止基本方針には、「特定の子供や立場の人だけの問題とせず、広く社会全体で真剣に取り組むこと」と示されている。新型コロナウイルス感染症に伴う、偏見や差別の問題の発生、そうした問題に向き合うことを倦厭する社会の雰囲気から脱却し、改めて、大人も子どもも共に「いじめ」について考え、自分事として行動していくことは重要である。コロナ禍と言われる今だからこそ、社会全体で「いじめ」と向き合い、改めて「いじめ」の捉え直しをしていく必要があるのではないだろうか。

子どもに関わる全ての大人が、現実及び仮想も含めた多様なコミュニティを創造し、大人社会の相互信頼を高めることで、子どもに安心できる空間を提供していくこと。さらに、地域・家庭が一体となって、今まで以上に、子どもたちに、幼い頃から多くの「大切な人」との出会いを創っていくこと。そして、子どもたちが自他の尊さや人とのつながりを実感し、自ら問題を解決していけるたくましい心を育てていくこと。子どもに関わる全ての大人が信頼関係を結び、関わり合える社会をつくっていくことは、温かく寛容な風土を醸し、子ども達を柔らかく包むことであり、社会全体で「いじめ」そのものを乗り越えていくことに他ならない。そこで、横浜市いじめ問題対策連絡協議会が、「いじめ防止に向けた提言」を策定・発信することを通して、市民全体が一丸となって、今後一層、取組を深化させていきたいと考える。

1月の予定

部活動終了17:00、生徒完全下校17:15

日	曜	行事	昼食	部活	日	曜	行事	昼食	部活
1	金	元日			17	日			
2	土				18	月		○	×
3	日				19	火		○	○
4	月				20	水	専門委員会	○	○
5	火	冬季休業終了			21	木	3年4校時終了後下校 図書館蔵書点検(~2/5)	○	○
6	水	朝:全校集会 書き初め展(~2/1)	×	×	22	金	3年4校時終了後下校	○	○
7	木	教育相談週間	○	○	23	土			
8	金		○	○	24	日			
9	土				25	月	評議会	○	○
10	日				26	火		○	×
11	月	成人の日			27	水		○	○
12	火		○	×	28	木		○	○
13	水		○	○	29	金	⑥全校集会	○	○
14	木		○	○	30	土			
15	金		○	○	31	日			
16	土								

・予定は変更になる場合もあります。

【2月の主な予定】

- 3日(水)3年学年末テスト
- 12日(金)新入生保護者説明会15:00
- 13日(土)新入生ジャージ・体操着等販売10:00~12:00
- 18日(木)~19日(金)1・2年学年末テスト
- 26日(金)3年卒業遠足



※卒業証書授与式は、3月11日(木)です。

校内でのお弁当販売を手伝ってくださる方を募集しています。朝の食券販売と、昼食時に弁当を渡していただくのが、主な仕事となります。
校内の施設等の確認を行う学校巡回員を募集しています。さらに詳細について知りたい方、ぜひやってみようという方は、副校長までご連絡ください。